

開会挨拶

林 信康（京都高大連携研究協議会 運営委員長／京都女子中学校・高等学校 校長）



ただいまご紹介にあずかりました、京都高大連携研究協議会運営委員会委員長、京都女子中学校・高等学校の林でございます。よろしくお願いたします。第19回高大連携教育フォーラムの開催にあたり、主催者を代表して、一言ごあいさつを申し上げます。

本フォーラムは、毎年、高等学校・大学間の接続教育における国内動向の情報共有と、京都における取り組みの情報発信および事例研究を目的に開催しております。今年度は、三位一体で高大接続改革が進められる中、高等学校における探究的な学びは、生徒・学生に何をもち、大学での研究にどのようにつながっていくのかという観点から、探究的な学びの可能性を探るべく「探究的な学びから研究へ—教育改革のジャンピングボードとなるためには—」をテーマとして設定いたしました。

今年度も昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、本フォーラムの参加者の皆さまおよび登壇者の先生方の健康と安全の確保のため、オンラインでの開催と

させていただきます。ライブ配信によるオンライン開催のため、不手際が生じるかもしれませんが、何とぞご容赦いただきますようよろしくお願いいたします。

また、オンライン開催にも関わらず、全国から高等学校、大学の教職員、学生、教育関係者など多くの方々にご参加をいただきましたことを、この場をお借りしまして厚く御礼を申し上げます。

本日のフォーラムが皆さまにとりまして、新たな発見の場となり、これからの教育活動に生かすことができる、実りある機会となれば幸甚に存じます。

最後に、ご多用中にも関わらず、本フォーラムへのご参加をいただきました皆さま、また登壇をご快諾いただきました先生方に感謝申し上げますとともに、皆さまのますますのご健勝と今後のご活躍を願いたします。開会のごあいさつとさせていただきます。本日は、誠にありがとうございます。